ラグビーワールドカップ 2019™ 大会概要

大会名称	ラグビーワールドカップ2019™
主催	ワールドラグビー（WR）
開催期間	令和元年９月20日（金）から11月２日（土）まで
開催都市	12会場（19自治体）
参加チーム	20チーム
試合数	45試合（当初予定48試合、台風19号の影響により３試合中止）
入場者数	170万4,443人（チケット販売率　約99.3%）
ファンゾーン来場者数	113万7,000人
特徴	①アジアで初のワールドカップ ②ラグビー伝統国以外で初のワールドカップ ③ラグビー７人制がオリンピック種目に採用されてから最初のワールドカップ

RUGBY WORLD CUP™ JAPAN日本2019

トーナメントマーク

大会公式マスコット「レンジー」

4年に一度じゃない。
一生に一度だ。
ONCE IN A LIFETIME

大会キャッチコピー

ラグビーワールドカップ 2019™

ロシア代表公認チームキャンプ地

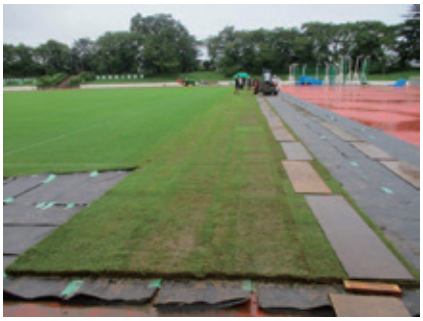
◎公認チームキャンプ地の誘致

H28	5月	(公財)ラグビーワールドカップ2019大会組織委員会が公認チームキャンプ地選定プロセスにかかる募集要項を公表
	8月	応募受付を開始、書類審査
H29	1～4月	(公財)ラグビーワールドカップ2019大会組織委員会による実地調査
	夏頃から	候補地の選定
	秋頃から	チームによる実地視察
H30	4/13	ルーマニア代表チームの公認チームキャンプ地内定
H30	6/13	公認チームキャンプ地の滞在チームがロシア代表へ変更
H30	7月	(公財)ラグビーワールドカップ2019大会組織委員会と武蔵野市による公認チームキャンプ地契約書の締結

◎主な施設整備

① 諸室改修
② ラグビーゴールポスト改修
③ 芝生改良
④ 芝生拡張

施設整備写真


芝生拡張整備

◎公認チームキャンプ

日時 令和元年9月17日(火)～令和元年9月22日(日)

内容 ラグビーワールドカップ2019大会組織委員会からの要望で、チームを支援する「公認チームキャンプ地コーディネーター」を選任しトレーニング施設の使用等について支援することとなり、(公財)武蔵野生涯学習振興事業団との連絡調整や練習時の立会いなど、チームに良好な練習環境を提供しました。

＜使用施設＞

トレーニング施設				宿泊施設
グラウンド	屋内練習場	ジム	プール	
武蔵野陸上競技場	武蔵野総合体育館	武蔵野総合体育館	武蔵野温水プール	ヒルトン東京

◎地域交流イベント

日時	令和元年９月22日(日)
場所	武蔵野陸上競技場
内容	公認チームキャンプ最終日に武蔵野ラグビースクール、ジュニア特派員の子どもたちを対象にロシア代表チームとの交流を実施しました。 １．リン・ジョーンズヘッドコーチからのレクチャー ２．練習風景の見学 ３．握手やハイタッチ ４．集合写真撮影 ５．武蔵野市から、記念品(応援国旗、花束)の贈呈 ６．ロシア代表から、サイン入りユニフォーム、記念品等の受取
協力	武蔵野ラグビースクール

公認チーム
キャンプ地マーク

練習風景

子どもたちとの交流風景

交流時の集合写真

ハバロフスク市との交流

ロシアチームがキャンプに来る前月に、友好都市であるハバロフスク市（ロシア）の中高生と、市内でラグビー交流を実施

日時	令和元年 8 月17日（土）午後 2 時から 4 時まで
場所	武蔵野総合体育館
主催	武蔵野市、武蔵野ラグビースクール
内容	ロシアのハバロフスク市から訪問した中高生11名と、武蔵野ラグビースクールの子ども達や前年（平成30年）にハバロフスク市を訪問した市内の中高生が、武蔵野総合体育館で「ラグビー交流」を実施
参加者数	35名（ハバロフスク市中高生12名、ラグビースクール12名、市内中高生11名）
協力	武蔵野ラグビースクール

ロシアのハバロフスク市から訪問した中高生12名と、武蔵野ラグビースクールの子ども達や昨年ハバロフスク市を訪問した市内の中高生が、武蔵野総合体育館で「ラグビー交流」を行いました。ラグビーは初めてという子ども達も、ラグビースクールのコーチの皆さんに教えてもらい、全員でタッチラグビーのゲームを楽しむことができました。交流の最後にはラグビーワールドカップ2019™に出場するロシア代表チームに向けて、子ども達が声を合わせた応援メッセージを撮影しました。この動画は「Sports for All 吉祥寺×ラグビー」で撮影したメッセージと合わせて編集し、ロシアチームに見てもらうとともに、市HPにて公開しました。

ハバロフスク市中高生とタグラグビーをする武蔵野ラグビースクールの子ども達

ロシア代表チームへのメッセージを国旗に

集合写真

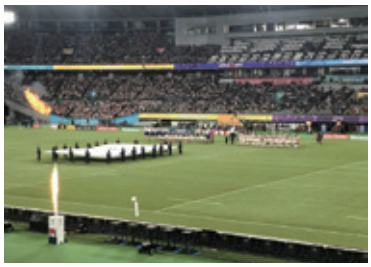
開幕戦・武蔵野市民応援イベント

ラグビーワールドカップ2019™の開幕戦「日本VSロシア」を応援し、「一生に一度」の体験をする市民応援イベントを実施

日時	令和元年９月20日(金)午前10時から午後10時30分まで
場所	東京スタジアム
主催	武蔵野市
旅行企画・実施	(株)JTB
内容	ラグビーワールドカップ2019™の開幕戦は「日本対ロシア」であり、市はロシア代表の公認チームキャンプ地として日本代表とロシア代表を応援するため、市長を団長とする応援団を結成し、市民応援イベントを実施しました。
参加者数	50人(市関係者招待20名、一般個人16名、一般ペア14名)
行程	ルートA(武蔵野市役所～銀座ファンゾーン～武蔵野市役所～東京スタジアム～武蔵野市役所) ルートB(武蔵野市役所～東京スタジアム～武蔵野市役所)

ラグビーワールドカップ2019™開幕戦「日本VSロシア」となりました。ホスト国である日本と、当市で公認チームキャンプを行ったロシアということで、市としては日本を応援することはもちろん、ロシアチームも応援するため、市長を団長とした応援団を結成しました。会場となった東京スタジアムは開幕戦にふさわしい大きな盛り上がりを見せ、日本で初めての開催となったラグビーワールドカップ2019™の熱気はまさに「一生に一度」の体験でした。参加者は日本もロシアも応援するため、全員が両国の手旗を持ち、日本チームには「頑張れ」と、ロシアチームには「ダヴァイ、ダヴァイ(行け、行け)」と声援を送りました。

出発前の集合写真



開会式

キックオフ

クラシックワラビーズとの交流

元オーストラリア代表選手によるラグビーチームが、武蔵野市に！

ラグビーはオーストラリアで最も盛んなスポーツの一つであり、男子代表チームのワラビーズはワールドカップで過去２回優勝しています。ワラビーズで活躍した選手によるOBチーム「クラシックワラビーズ」が来日するにあたり、現在日本で一番歴史のあるラグビースクールがあり、ラグビーワールドカップ2019™公認チームキャンプ地でもある当市に交流の打診があったことから、交流が実現しました。

まず、平成30年10月に、「キャノン ブレディスローカップ」に合わせて来日するクラシックワラビーズの選手が武蔵野市を訪問し、子どもたちとラグビーを通じた交流を行いました。

①武蔵野市立第一小学校訪問
（平成30年10月25日）

②成蹊学園へのクリニック
（平成30年 10月27日）

日時	①平成30年10月25日（木）午前中 ②平成30年10月27日（土）午前中 ③平成30年10月28日（日）午前10時から正午まで
場所	①武蔵市立第一小学校 ②成蹊学園 ③武蔵野陸上競技場
内容	①タグラグビーの授業（３年生）に参加、児童と共に給食 ②小学校ラグビー部、大学ラグビー部へのクリニック ③武蔵野ラグビースクールへのクリニック

③武蔵野ラグビースクールへのクリニック
（平成30年10月28日）

そしてさらに、ラグビーワールドカップ2019™に際して来日したクラシックワラビーズが、武蔵野市でのイベント「ワールド×ラグビー（P.47参照）」でのクラシックワラビーズとクラシックジャパンの親善試合を翌日に控えた令和元年９月27日、武蔵野市立第五中学校を訪問し、ラグビー部の生徒たちと交流しました。生徒たちが開始前に苦手と話していたタックルの練習を選手から直接教えてもらい、その後はタッチラグビーで盛り上がりました。

日時	令和元年９月27日（金）夕方
場所	武蔵野市立第五中学校
内容	ラグビー部へのクリニック

現役を退いているとはいえ、さすがはラグビーの強豪ワラビーズの元代表選手たち！参加した子どもは選手たちの体の大きさや世界レベルのプレーを間近で体験し、大興奮。まさに「一生に一度」の体験でした。

武蔵野市立第五中学校へのクリニック
（令和元年９月27日（金））

ワールド×ラグビー

かつて世界を沸かせたラグビー元オーストラリア代表「クラシックワラビーズ」と、この日のために集結したラグビー元日本代表「クラシックジャパン」が激突！

日時	令和元年９月28日（土）午前９時30分から午後６時まで
場所	武蔵野陸上競技場
主催	武蔵野市、武蔵野市教育委員会、（公財）武蔵野生涯学習振興事業団
内容	1．横河武蔵野アルテミ・スターズとオーストラリア女子中高生などによる女子セブンスラグビーの親善試合 2．Classic Wallabies×Classic Japan親善試合 3．Classic Wallabies・Classic Japanと観客の交流（タッチラグビーなど） 4．パブリックビューイング「ラグビーワールドカップ2019™　日本対アイルランド戦」 5．その他（縁日など「祭り」を同時開催）
来場者数	5,500人
協力	横河電機株式会社、武蔵野市ラグビーフットボール協会、 （特非）武蔵野スポーツクラブ

平成30年度より交流のあったラグビー元オーストラリア代表の「クラシックワラビーズ」がラグビーワールドカップ2019™開幕に合わせて来日しました。この日のためだけに初結成した「クラシックジャパン」と親善試合を行いました。親善試合後はクラシックワラビーズの選手たちと子どもたちによるタッチラグビー体験、またラグビーワールドカップ2019™「日本vsアイルランド」戦のパブリックビューイングも行い、まさにラグビーの魅力を感じられる１日となりました。来場者数は武蔵野陸上競技場の入場者数を更新する5,500人となりました。

選手入場

Classic WallabiesとClassic Japan集合写真

パブリックビューイングの様子

武蔵境パブリックビューイング

武蔵境駅前の境南ふれあい広場公園に大型ビジョンを設置し、ラグビーワールドカップ2019™の開幕戦および２日目の試合を放映

日時	令和元年９月20日(金)午後３時から10時まで、９月21日(土)午後１時から６時15分まで
場所	境南ふれあい広場公園
主催	武蔵野市
内容	公園内に180インチのビジョンカーを設置し、20日は開会式及び開幕戦「日本対ロシア」、21日は「フランス対アルゼンチン」の試合を放映
来場者数	(20日)800人、(21日)400人
出席者(開幕式イベント)	武蔵境スポーツ実行委員会　実行委員長　生駒　耕示氏 横河武蔵野アルテミ・スターズ　青木　蘭選手 ワレンチナ・パンチェンコ氏 ザ・ぷー(街角マチコ)
協力	武蔵境スポーツ実行委員会

９月20日　日本対ロシア
パブリックビューイング会場の様子

ラグビーワールドカップ2019™開幕戦「日本VSロシア」戦のパブリックビューイングを武蔵境の境南ふれあい広場公園で開催しました。会場から溢れんばかりの観客は800人を超え、開幕戦にふさわしい大きな盛り上がりをみせました。また当日は日本だけでなく、武蔵野市が公認チームキャンプ地を務めるロシアチームを、会場でロシア国歌を歌うことで応援しました。さらに会場近くでは武蔵境がシャトルバス利用客を含めた来街者をおもてなし。武蔵野市の子ども達が描いた「来街者歓迎しおり」の配布や、隣接したイベント会場ではラグビーワールドカップ出場各国のビールの出店などもありました。翌21日（土）も引き続き同会場でパブリックビューイングを実施し、盛り上がりました。

９月21日　フランス対アルゼンチン　パブリックビューイング会場の様子

武蔵境ウェルカムイベント

ラグビーワールドカップ2019™観戦のために国内外からの来街者をまちぐるみで歓迎！

日時	令和元年９月20日(金)午後３時から10時まで、 ９月21日(土)午後１時から９時まで 10月５日(土)午後２時から10時まで 10月６日(日)午前11時から午後７時まで
場所	境南ふれあい広場公園
主催	武蔵境スポーツ実行委員会　(後援)武蔵野市
内容	世界のビールや各種フードなどの飲食ブース、書道体験コーナーなど日本の伝統文化ブース、音楽やダンスを披露するステージ及び記念撮影スポットなどを設置
協力	武蔵境商店会連合会

ワールドカップ出場国の中でも、上記日時に東京スタジアムで試合を行う各国（日本・ロシア・フランス・アルゼンチン・イングランド・アルゼンチン・ニュージーランド・ナミビア）に関わる販売等を行いました。また、外国人に来日の記念になるような物販や飲食物提供、記念写真スポット等を設置しました。また、同会場内で「ラグビー×コミックゼノン」パネルの展示や、ラグビーボールでのストラックアウトなどを実施しました。

会場の様子

ラグビーヒストリーパネル展示

「ラグビー×コミックゼノン」パネルの展示

ストラックアウト

準々決勝南アフリカ戦 パブリックビューイング

準々決勝「日本対南アフリカ」のパブリックビューイングを実施

日時	令和元年10月20日（日）午後６時45分（開場）から９時まで
場所	武蔵野総合体育館
主催	武蔵野市、武蔵野市教育委員会、（公財）武蔵野生涯学習振興事業団
内容	武蔵野総合体育館メインアリーナにスクリーン及びプロジェクターを設置し前方にアリーナ席、その後ろに椅子席、２階席を配置
来場者数	1,117名
協力	武蔵野市ラグビーフットボール協会

ラグビーワールドカップ2019™で日本は予選プールＡを４戦全勝でベスト８入りを決めました。熱狂的に国内中が盛り上がり、武蔵野総合体育館メインアリーナで準々決勝「日本対南アフリカ」戦のパブリックビューイングを行うことを決めました。子供から大人まで日本代表の桜のジャージを身につけて来場される方が多く、市内でもラグビーワールドカップ2019™の影響は大きく、家族みんなで楽しめる時間が増えているのだと実感しました。会場内では、実際の会場で観戦しているように、飲食可としたスペースを設け実施しました。2015年の試合で当時世界３位だった南アフリカに勝っていたため期待が大きかったですが、日本は残念ながら負けてしまいました。しかし、ここまで全勝で勝ち上がってきた日本代表に、会場内では賞賛の声があがっていました。

会場の様子

ラグビールーマニア代表応援ツアー in 熊本

熊本まで行き、ルーマニアラグビー代表チームの応援と交流を実施

日時	平成29年６月10日（土）～11日（日）　一泊二日
場所	（１日目）「熊本県民総合運動公園陸上競技場」（熊本・えがお健康スタジアム） （２日目）熊本城・熊本市街地
内容	当市がホストタウンを務めるルーマニア。そのラグビー代表チームが日本で試合をするということで、市長を含めた28名の市民応援団により、ルーマニア代表vs日本代表のラグビー国際テストマッチを観戦し、試合後に選手の皆様と交流しました。２日目は熊本城の視察を行いました。当市は熊本地震発生後、友好都市のつながりを通じて熊本県菊池市に救援物資を搬送したほか、東京都市長会を通じて熊本市への職員派遣などに取り組んできました。ボランティアガイドさんの説明を受けながら、地震のすさまじさを実感するとともに、復興の現状を見てきました。
参加人数	28名
協力	武蔵野市ラグビー協会

試合の応援をする市民応援団

市民応援団とラグビールーマニア代表